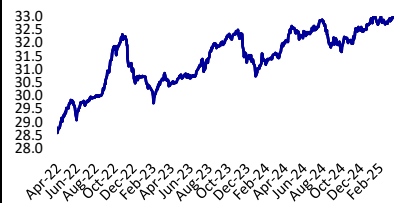
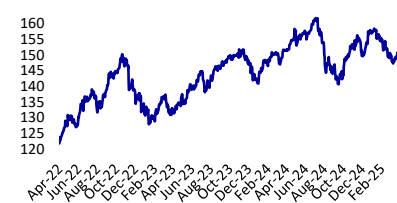


市場動向

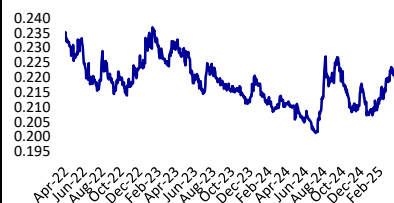
■USD/TWD



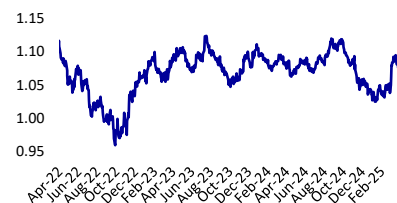
■USD/JPY



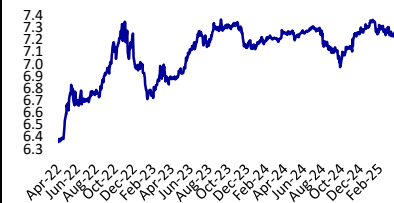
■JPY/TWD



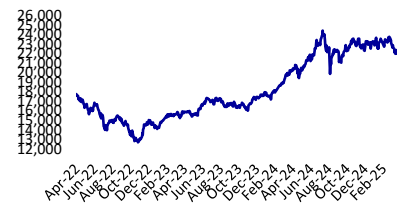
■EUR/USD



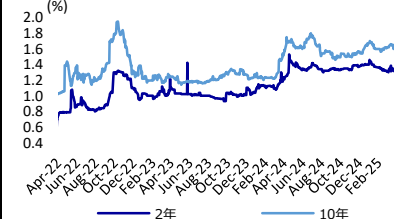
■USD/CNH



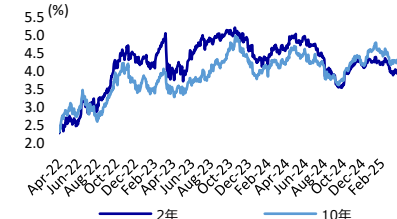
■台湾加権指数



■台湾国債利回り



■米国債利回り



先週の市場動向

■USD/TWD

先週のドル/台湾ドルは上昇。週初3/24は32.990でオープン後、トランプ政権が関税を課す対象を絞るとの報道が流れたにも関わらず、外資による台湾株売りが続き、ドルは一時33.052価格まで上昇。3/25は、外資による台湾株売りが一段落したものの、米金利高に伴う海外送金が増え、ドル買い優勢の展開。3/26、海外市場におけるドル高に加え、米金利高に伴う海外送金が増え、ドル買い優勢の展開。3/27は、海外市場におけるドル買いが続く中、米金利高及び台湾株安に伴う海外送金が増え、ドル買い優勢の展開、一時33.145まで上昇。3/28は、株安と米金利高を受け、ドル買いが加速し、一時33.198まで急上昇したが、輸出企業と台湾当局のドル売りが入り、最終的には前週比0.33%ドル高台湾ドル安の33.097で先週の取引を終了。週間の外国人投資家の株式売り越し額は777.5億台湾ドル。

■USD/JPY

先週のドル/円は上昇。週初3/24は149.30でオープン後、トランプ関税懸念緩和や米サービス業PMI上振れを受けた株高・米金利上昇を受けて、ドルは149円台前半から150円台後半まで大きく上昇。3/25は、151円を目前までに上昇したが、欧米時間に入り、米消費者信頼感指数の悪化を受け、米株高失速と米金利の低下で、ドルは150円前後に反落。3/26は、小枝日銀審議委員は就任会見にて、実質金利は極めて低いなどの発言をしており、正常化路線を支持する公算が大きい。しかし、マーケットへの影響は限定的。欧米時間では、米関税政策懸念を受けた株安にも拘らず、米金利上昇とドル高を背景に150円台半ばで底堅さを見せた。3/27は、トランプ政権は自動車関税の発動を発表したものの、金融市場への影響は今のところ限定的。3/28は、3月ミシガン大消費者信頼感指数が小幅悪化したことに加え、インフレ期待が上方修正となったため、米スタグフレーション懸念が強まり、米株安を背景にリスクオフの円買いが加速。最終的には前週比0.34%ドル高円安の149.83で先週の取引を終了。

今週の見通し

■USD/TWD 予想レンジ：32.920-33.280

今週のドル/台湾ドルは底値の堅い推移を見込む。米相互関税の発表を控えるほか、台湾の4連休を前に、リスクオフのドル買いが強まりやすいだろう。

■USD/JPY 予想レンジ：147.00-151.00

今週のドル/円は揉み合い推移を見込む。米国で相互関税の発表を控えるほか、週内に米国の重要指標の公表が相次ぎ予定される中、関税の詳細や統計の内容次第で上下に振れる展開となるであろう。

今週の予定

3/31 (MON)	台湾3月製造業PMI指数
4/1 (TUE)	米3月製造業PMI指数
4/2 (WED)	米相互関税発動予定日
4/3 (THU)	米自動車関税賦課開始予定日、米3月非製造業ISM指数
4/4 (FRI)	米3月雇用統計、パウエル議長講演

(Source) Thomson Reuters, Mizuho Bank

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。当資料に記載された内容は、事前連絡なしに変更されることがあります。投資に関する最終決定は、お客さまご自身の判断でなさるようお願いいたします。当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず、無断で引用、複製することを禁じます。